

## 2024年8月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年1月12日  
上場取引所 東

上場会社名 株式会社ビックカメラ  
 コード番号 3048 URL <https://www.biccamera.co.jp/ir/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 秋保 徹  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 安部 徹 TEL 03-3987-8785  
 四半期報告書提出予定日 2024年1月12日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年8月期第1四半期の連結業績(2023年9月1日～2023年11月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年8月期第1四半期	210,491	9.5	2,546	69.8	3,077	57.6	1,312	103.3
2023年8月期第1四半期	192,160	7.4	1,499	△31.5	1,953	△34.2	645	△46.6

(注) 包括利益 2024年8月期第1四半期 1,950百万円 (138.8%) 2023年8月期第1四半期 816百万円 (△60.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年8月期第1四半期	7.67	7.66
2023年8月期第1四半期	3.77	3.77

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年8月期第1四半期	501,279	175,908	27.4
2023年8月期	449,840	176,383	30.5

(参考) 自己資本 2024年8月期第1四半期 137,217百万円 2023年8月期 137,173百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年8月期	—	5.00	—	10.00	15.00
2024年8月期	—	—	—	—	—
2024年8月期(予想)	—	9.00	—	9.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年8月期の連結業績予想(2023年9月1日～2024年8月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	445,000	9.2	7,600	2.9	8,400	△0.3	3,850	△8.4	22.49
通期	897,500	10.0	15,800	11.1	18,200	9.9	7,550	157.1	44.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年8月期1Q	188,146,304 株	2023年8月期	188,146,304 株
② 期末自己株式数	2024年8月期1Q	16,963,705 株	2023年8月期	16,974,305 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年8月期1Q	171,178,672 株	2023年8月期1Q	171,165,504 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料は、当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更) .....	7
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動) .....	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	7
(会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示) .....	7
(追加情報) .....	7
(セグメント情報) .....	8
(重要な後発事象) .....	9
3. 補足情報 .....	10
生産、受注及び販売の実績 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2023年9月1日から2023年11月30日まで)におけるわが国経済は、このところ一部に足踏みもみられるものの、緩やかに持ち直しております。企業収益は、総じてみれば改善し、個人消費は持ち直しており、雇用情勢は改善の動きがみられます。

当家電小売業界における売上は、スマートフォンや理美容家電等が好調、デジタルカメラや調理家電等が堅調に推移し、ゲームやパソコン等が低調であったものの、総じて堅調に推移いたしました。

こうした状況下において、「専門性と先進性で、より豊かな生活を提案する、進化し続けるこだわりの専門店の集合体」と定めた企業理念のもと、経営戦略として「ビックカメラらしい強い店舗を取り戻す」を掲げ、その実現に向け、「人を成長の原動力とする」を筆頭に、「強い店舗の再構築」、「収益構造の抜本的見直し」及び「中長期の成長戦略」を4大施策として取り組んでおります。

新型コロナウイルス感染症の影響により落ち込んでいた免税売上は、足元ではコロナ前の水準まで回復しております。

店舗展開におきましては、グループ会社の株式会社コジマが、2023年11月23日に「コジマ×ビックカメラ 新さっぽろデュオ店」(北海道札幌市)を開店いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は2,104億91百万円(前年同期比9.5%増)、営業利益は25億46百万円(前年同期比69.8%増)、経常利益は30億77百万円(前年同期比57.6%増)、税金等調整前四半期純利益は24億24百万円(前年同期比25.4%増)となりました。法人税等合計が8億92百万円、非支配株主に帰属する四半期純利益が2億19百万円となったため、親会社株主に帰属する四半期純利益は13億12百万円(前年同期比103.3%増)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(物品販売事業)

売上高は2,073億18百万円(前年同期比9.7%増)、経常利益は26億29百万円(前年同期比103.9%増)となりました。

(BSデジタル放送事業)

売上高は28億1百万円(前年同期比2.6%減)、経常利益は4億21百万円(前年同期比34.3%減)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ514億38百万円増加(前連結会計年度末比11.4%増)し、5,012億79百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の減少41億78百万円があったものの、売掛金の増加85億7百万円、商品及び製品の増加218億96百万円、のれんの増加89億36百万円によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ519億14百万円増加(前連結会計年度末比19.0%増)し、3,253億70百万円となりました。主な要因は、長期借入金の減少37億00百万円があったものの、買掛金の増加249億34百万円、短期借入金の増加231億42百万円によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ4億75百万円減少(前連結会計年度末比0.3%減)し、1,759億8百万円となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益(純資産の増加)13億12百万円があったものの、剰余金の配当(純資産の減少)17億11百万円によるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年8月期の第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、2023年10月11日公表の数値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	75,135	70,956
売掛金	44,540	53,047
商品及び製品	105,260	127,156
原材料及び貯蔵品	575	659
番組勘定	269	309
その他	21,662	32,544
貸倒引当金	△198	△199
流動資産合計	247,245	284,475
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	25,547	26,362
土地	47,747	47,747
その他（純額）	9,809	9,757
有形固定資産合計	83,104	83,866
無形固定資産		
のれん	5,303	14,239
その他	26,687	26,186
無形固定資産合計	31,990	40,425
投資その他の資産		
差入保証金	40,641	41,830
その他	47,599	51,407
貸倒引当金	△740	△727
投資その他の資産合計	87,500	92,510
固定資産合計	202,595	216,803
資産合計	449,840	501,279

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年11月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	39,919	64,853
短期借入金	78,000	101,142
1年内償還予定の社債	200	200
1年内返済予定の長期借入金	20,304	19,393
未払法人税等	2,817	1,492
契約負債	31,112	31,182
賞与引当金	4,358	7,056
店舗閉鎖損失引当金	135	265
資産除去債務	433	570
その他	27,581	33,252
流動負債合計	204,862	259,409
固定負債		
社債	200	100
長期借入金	24,022	20,322
契約負債	8,781	8,712
商品保証引当金	178	162
店舗閉鎖損失引当金	387	247
関係会社事業損失引当金	47	20
退職給付に係る負債	19,347	20,370
資産除去債務	10,387	10,660
その他	5,241	5,365
固定負債合計	68,593	65,961
負債合計	273,456	325,370
純資産の部		
株主資本		
資本金	25,929	25,929
資本剰余金	27,081	27,083
利益剰余金	99,438	99,038
自己株式	△21,684	△21,670
株主資本合計	130,764	130,381
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,517	5,884
退職給付に係る調整累計額	892	952
その他の包括利益累計額合計	6,409	6,836
新株予約権	211	192
非支配株主持分	38,998	38,497
純資産合計	176,383	175,908
負債純資産合計	449,840	501,279

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2022年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年9月1日 至 2023年11月30日)
売上高	192,160	210,491
売上原価	140,898	156,177
売上総利益	51,261	54,313
販売費及び一般管理費	49,761	51,766
営業利益	1,499	2,546
営業外収益		
受取利息	8	7
受取配当金	3	4
持分法による投資利益	—	26
受取手数料	401	406
その他	186	203
営業外収益合計	599	647
営業外費用		
支払利息	57	59
持分法による投資損失	38	—
支払手数料	8	27
その他	41	29
営業外費用合計	146	116
経常利益	1,953	3,077
特別利益		
固定資産売却益	4	1
新株予約権戻入益	—	7
特別利益合計	4	8
特別損失		
固定資産除却損	21	59
減損損失	—	583
その他	3	18
特別損失合計	24	661
税金等調整前四半期純利益	1,933	2,424
法人税、住民税及び事業税	1,043	1,076
法人税等調整額	△116	△184
法人税等合計	927	892
四半期純利益	1,006	1,532
非支配株主に帰属する四半期純利益	360	219
親会社株主に帰属する四半期純利益	645	1,312

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2022年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年9月1日 至 2023年11月30日)
四半期純利益	1,006	1,532
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△201	367
退職給付に係る調整額	11	50
その他の包括利益合計	△189	417
四半期包括利益	816	1,950
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	469	1,739
非支配株主に係る四半期包括利益	347	210



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

連結の範囲の重要な変更

当第1四半期連結会計期間より、当社の連結子会社であった株式会社ソーモバイルは、株式会社ラネット(連結子会社)を存続会社とする吸収合併(合併期日:2023年9月1日)により消滅したため、連結の範囲から除外しております。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示)

該当事項はありません。

(追加情報)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

前第1四半期連結累計期間(自2022年9月1日至2022年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額	連結財務諸表 計上額 (注2)
	物品販売 事業	B S デジタル 放送事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	188,894	2,853	191,748	412	192,160	—	192,160
セグメント間の内部 売上高又は振替高	17	22	40	0	40	△40	—
計	188,912	2,875	191,788	412	192,200	△40	192,160
セグメント利益	1,289	641	1,931	22	1,953	—	1,953

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ケーブルテレビ事業を含んでおります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

前第1四半期連結会計期間における重要な変動はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間（自 2023年9月1日 至 2023年11月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額	連結財務諸表 計上額 (注2)
	物品販売 事業	B S デジタル 放送事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	207,305	2,787	210,092	398	210,491	—	210,491
セグメント間の内部 売上高又は振替高	13	14	28	0	28	△28	—
計	207,318	2,801	210,120	399	210,519	△28	210,491
セグメント利益	2,629	421	3,050	27	3,077	—	3,077

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ケーブルテレビ事業を含んでおります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「物品販売事業」セグメントにおいて、店舗設備等に係る固定資産につき減損損失を計上しております。なお、当第1四半期連結累計期間における当該減損損失の計上額は583百万円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

「物品販売事業」セグメントにおいて、連結子会社である株式会社TDM準備会社(2023年10月、株式会社TDモバイルに商号変更)が、株式会社TDモバイルが営む事業を吸収分割の方法により事業承継したことに伴い、のれんを計上しております。当第1四半期連結累計期間において、当該事象によるのれんの増加額は9,211百万円であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

3. 補足情報

生産、受注及び販売の実績

セグメント別売上高

セグメントの名称及び品目		当第1四半期連結累計期間 (自 2023年9月1日 至 2023年11月30日)		
		売上高 (百万円)	構成比 (%)	前年同期比増減率 (%)
音響映像商品	カメラ	7,157	3.4	14.9
	テレビ	8,074	3.8	△15.8
	レコーダー・ビデオカメラ	2,317	1.1	△12.3
	オーディオ	2,352	1.1	△4.8
	その他	7,461	3.6	6.9
	小計	27,363	13.0	△1.9
家庭電化商品	冷蔵庫	8,623	4.1	△5.3
	洗濯機	8,824	4.2	△7.0
	調理家電	7,260	3.4	1.4
	季節家電	10,228	4.9	△3.3
	理美容家電	11,200	5.3	12.6
	その他	10,054	4.8	△7.5
	小計	56,191	26.7	△1.7
情報通信機器 商品	パソコン本体	11,278	5.4	△17.4
	パソコン周辺機器	5,802	2.7	△14.0
	携帯電話	47,380	22.5	48.5
	その他	12,338	5.9	13.3
	小計	76,800	36.5	21.5
その他の商品	ゲーム	10,812	5.1	△15.2
	時計	3,339	1.6	23.5
	中古パソコン等	7,293	3.5	8.8
	スポーツ用品	2,534	1.2	1.2
	玩具	3,481	1.6	21.1
	メガネ・コンタクト	1,226	0.6	10.2
	酒類・飲食物	1,818	0.9	33.9
	医薬品・日用雑貨	3,418	1.6	41.5
	その他	13,025	6.2	58.5
	小計	46,949	22.3	15.5
物品販売事業		207,305	98.5	9.7
BSデジタル放送事業		2,787	1.3	△2.3
その他の事業		398	0.2	△3.2
合計		210,491	100.0	9.5